

令和 7 年度第 2 回本別警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和 7 年 10 月 24 日（金）午後 1 時 30 分から午後 2 時 40 分まで

2 開催場所

本別警察署会議室

3 出席者

(1) 協議会 5 人（定員 7 人）

会	長	小	林	雅	子
副	会	長	新	津	初
委		員	村	上	真奈美
委		員	尾	西	謙
委		員	沼	澤	康弘

(2) 警察署 6 人

署	長	伊	林		潤
副	署	長	香	川	学
刑事・生活安全課	長	三	好	隆	宏
地域・交通課	長	小	林	勝	則
警務係	長				
生活安全係	長				

4 会議概要

(1) 会長挨拶

(2) 本別警察署長挨拶

(3) 前回協議会時（7 月 7 日開催）の委員提言等に対する措置説明

■ 委員

高速道路における逆走が社会問題として関心を集める中、足寄町郊南 1 丁目の交差点（目標物：コンビニエンスストア）において逆走車両を目撃したという話を聞いたことがある。

具体的には、足寄町市街地から上士幌町方向に交差点を右折する際、誤って反対側の路線に進行し逆走してしまったという状況のようである。

重大な交通事故の発生が懸念されることから、何らかの対策の検討をお願いしたい。

○ 警察説明

現場確認結果、道路上には右折車両を誘導する誘導線が明確に標示されていたほか、道路構造にも問題は認められませんでした。

当署では委員要望を踏まえ、管轄する足寄交番員による街頭監視、夏・秋の交通安全運動期間に関係機関と連携した街頭監視を実施するなど対策を行いました。

複数回にわたって街頭監視を実施しましたが、逆走の発生はありませんでした。

当署では、関係機関と連携の上、安全な道路環境構築に向けた取組を推進していく所存ですので、引き続き御協力をお願い致します。

(4) 業務概況説明

(5) 事前アンケートに対する措置説明・回答

ア 措置説明

■ 委員

本別 IC と国道 242 号線の交差点において一時停止を無視する大型車両があることから取締りをして欲しい。

○ 警察回答

国道 242 号線は主要幹線道路であり、車両の通行量も多いことから、重点的に

取締りを推進して交通事故の抑止を図っています。

また、当該交差点及びその周辺において、昼夜を問わず重点的に取締りを実施して交通事故抑止を図りました。

今後も交通指導取締りを強力に推進していく所存ですので、引き続きの御協力をお願い致します。

■ 委員

足寄町郊南1丁目の交差点直近に脇道が存在しているが、信号待ち時等に同脇道をショートカットする車両があり交通事故の発生が懸念される。

○ 警察回答

当該脇道については、国道242号線の直下を流れる河川の管理作業用通路であり、一般車両の往来を想定して設けられた道路では無いということが判明しました。

当署では、委員要望を管理者である足寄町役場に伝達の上、封鎖措置の検討を要請致しました。

先般、足寄町役場において当該脇道の封鎖措置がなされました。

■ 委員

長期間歩道上に車両を駐車している者がおり困っている。

どうしたらよいか解決策があれば教えて欲しい。

○ 警察回答

歩道上への車両駐車は、道路交通法（駐車）違反に該当します。

現場確認の上、必要な是正措置を講じて問題を解決しました。

路上駐車等でお困りの際は、最寄りの交番・駐在所又は当署に御相談下さい。

■ 委員

足寄町南1丁目の交差点を右左折する際、両国橋の欄干が道路の見通しを一部遮り見通しを低下させていることから、カーブミラーを設置して欲しい。

○ 警察回答

町道管理者である足寄町役場に対して、住民意見としてカーブミラーの設置要望があること及び警察意見としても視認性の問題などから設置が望ましいことを伝達させていただきました。

本日、足寄町役場から「カーブミラーを仮設置した。今後、本設置に向けて視認性等の確認・調整を行う予定である。」旨の連絡をいただきました。

イ 回答

■ 委員

ネイパル足寄に宿泊する小中学生が、自転車を利用して各種活動を行うことがある。

小中学生を預かるネイパル足寄職員に交通安全教育を実施してはどうか。

○ 警察回答

今後、ネイパル足寄の意向や要望等を確認の上、対応予定です。

なお、管内小中高校生に対しては、交通安全教室の機会に自転車シミュレーターを活用した体験型の交通安全教室を開催するなど、自転車ルールに関する交通安全教育を実施しています。

引き続き創意工夫して交通ルールの浸透を図っていく所存です。

■ 委員

高齢者の自転車運転について、一時不停止やふらつき等の危険な運転を目撃することがある。

○ 警察回答

運転免許手続き時や交通安全講話、各種啓発イベント時などあらゆる機会を通じて交通安全教育を推進しているほか、平素のパトロールを通じた交通指導取締りを徹底して高齢者による交通事故抑止を図っていく所存です。

■ 委員

足寄町の道の駅前交差点の信号表示（青色）をもう少し長くして欲しい。

トラックが連なった場合、多少渋滞する時がある。

○ 警察回答

土日・祝日や通勤・退勤時間帯など交通量が多い時間帯に多少渋滞が発生することは承知しておりますが、現在の信号周期により実勢速度の抑止を図ることで、交通事故抑止に一定の効果が認められているところですので、引き続き、現在の信号周期のまま効果を見定めていく所存です。

■ 委員

警察から自治会等において開催が可能な出前講座を知りたい。

○ 警察回答

当署では、地域住民や企業・団体を対象とした講話等を実施しており、代表的なものとして、特殊詐欺をはじめ各種犯罪被害防止対策を学んでいただく防犯関係、交通ルール等を学んでいただく交通関係、自然災害の脅威や御家庭でできる防災対策等を学んでいただく防災関係、サイバー犯罪被害防止やセキュリティ対策を学んでいただくサイバー関係などがございます。

対象となる方の御年齢や御要望に合わせて対応が可能ですので、開催の御要望がございましたら、最寄りの交番・駐在所又は当署まで御相談下さい。

■ 委員

協議会開催手段としてオンライン形式による会議開催について検討してはどうか。

○ 警察回答

先般、他の警察署において一般のWeb会議ツールを活用して協議会を開催したという事例がございます。

人数的制限や時間的制限などいくつか制限があるようですが、同様の方法を用いることで当署での実施も可能と考えています。

オンライン技術の活用は、協議会の更なる活性化や委員の皆様の負担軽減に有益と考えていますので、皆様の御要望等を踏まえつつ、今後における活用を検討しています。

また、委員要望については、警察本部とも共有しています。

(6) 諮問事項

特殊詐欺被害防止について

(7) 特殊詐欺被害疑似体験ツールの紹介・実演

(8) 質疑応答

■ 委員

事前アンケートに対する回答の中で、足寄町南1丁目交差点付近にカーブミラーが仮設置されたと説明があった。

仕事柄、当該交差点を往来する機会が多く、平素から右左折時に視認性が悪いと感じていた。

また、直近に所在する足寄町民センター利用者も当該交差点を往来する方が多いことから、カーブミラーが設置されたことは、町民として非常に有り難いと感じた。

■ 委員

事前アンケートに対する回答の中で、自治会に対する出前講座に関する説明があったが、いつ、どこで、どのような講座を開催するといったお知らせを例えば自治体発行の広報紙等で周知しているのか伺いたい。

○ 警察回答

関係機関・企業・団体、自治会等から御依頼を受けて開催していますので、警察主体で広報は行っていません。

警察主体で開催する場合には、各町広報紙等を活用させていただきたいと考えています。

■ 委員

自治会に対する出前講座について何名以上の参加が必須など条件があるのか伺いたい。

○ 警察回答

開催に関する条件は特段ございません。

御希望の開催日時や対象となる方の御年齢・御要望等を踏まえてフレキシブル

に対応することが可能ですので、開催を要望される場合は、お近くの交番・駐在所又は当署まで御相談下さい。

■ 委員

長年、様々な自治会において町ぐるみで議論されていることであるが、災害が発生した場合に自力避難が困難な方へ町内会がいかに手を差し伸べられるかが議論されている。

このような中、防災教室の開催など警察からの協力が得られることは、地域住民としては大変有り難いことであり助かると感じた。

■ 委員

刑法犯認知件数に関する説明の中で「知能犯事件」に関する説明を受けたが、本別警察署管内で発生した２件の「知能犯事件」については、全て特殊詐欺事件なのか伺いたい。

○ 警察回答

事件の内訳ですが、特殊詐欺事件が１件、業務上横領事件が１件となります。

■ 委員

刑法犯認知件数に関する説明の中で「粗暴犯事件」に関する説明を受けたが、事件の概要については、いわゆるけんか等の類いと認識してよいか伺いたい。

○ 警察回答

そのとおりです。

■ 委員

９月１６日に道路交通法違反（酒気帯び）事件で帯広市居住の男を逮捕したと説明を受けたが、足寄町内で発生した事件なのか伺いたい。

○ 警察回答

新聞報道等で御存知かと思いますが、足寄町内で発生した事件です。

■ 委員

特殊詐欺について伺います。

「X（旧Twitter）」や「instagram」といったSNS上に掲載された悪意ある広告が被害への入口となっているようですが、これら広告を警察において規制・削除する等の対応ができないか伺いたい。

○ 警察回答

警察においては、日々サイバーパトロールを実施しており、特殊詐欺に限らず犯罪を誘発する投稿を認めた場合には、関係機関と連携の上、アカウント凍結の要請を行うなどの諸対策を講じています。

なお、SNSの運営企業が国外に存在している場合には、対応が困難となるケースがあります。

■ 委員

ネットショッピングをよく利用するが、先般、SMSにて自身のパスワード等が不正に利用されている旨のメッセージを受信した。

不審に思いネットショッピングの購入履歴を確認したところ、身に覚えの無い商品の購入履歴があった。

諸手続を経て当該商品購入をキャンセルすることができたが、この事例はどういった手口なのか伺いたい。

○ 警察回答

悪意ある第三者が何らかの手段・方法を用いて他人のクレジットカード情報を窃取・悪用して商品を購入するという手口であり、非常に多くの被害が発生しています。

ショッピングサイトを運営する各企業において認証手続きを強化するなどの対策が講じられているところですが、この種被害を防ぐためには、ユーザー側による対策も重要であり、二段階認証の設定やパスワードの定期的変更といった対策が効果的です。

なお、ユーザー情報やパスワード等の窃取を目的とするフィッシングメールによる被害も増えていますので、パスワード等変更に際しては、正規のサイトから手続きを行うようお願い致します。

■ 委員

身に覚えの無いネットショッピングについて、支払い手続きが既に完了していたり、キャンセル手続きができないといったケースはあるのか伺いたい。

また、この種被害に気付いた場合、警察に届け出るべきか伺いたい。

○ 警察回答

救済措置が講じられる場合がございますので、御利用のクレジットカード会社に御相談いただくとともに警察への届出もお願い致します。

■ 委員

先般、自身のメールアドレスが第三者に乗っ取られ、詐欺メールが何千件も発信されるという被害を受けた。

情報社会の進歩とともに次々と新たな手口が世の中に誕生していることから、自己防衛の重要性・必要性を強く感じた。

■ 委員

S N S 型投資詐欺被害について、どの年代による被害が多いのか伺いたい。

○ 警察回答

被害の実態として、30代から50代の方による被害が多い現状にあります。

■ 委員

インターネットやS N S が身近な存在となっている若年層の方を特殊詐欺はじめサイバー犯罪から守るために何か対策が講じられないか伺いたい。

○ 警察回答

当署では、最新の手口・被害防止対策に関する情報発信や啓発活動を行っているほか、管内小中高校においてサイバー犯罪被害防止に関する防犯教室を開催しています。

また、新入学時期には各学校と連携の上、保護者の方を対象としたフィルタリング機能に関する説明を行うなど対策を推進しています。